

日光清掃登山・太郎山

栃木県山岳・スポーツクライミング連盟主催

日本山岳会栃木支部、栃木県「山の日」協議会共催事業

期日：令和7年7月6日（日）

参加者：渡邊、仙石、菱田、仲畠、猿山、後藤、大島、荒井、福田、吉澤、麦倉、松金

ゲスト：後藤夫人、大島夫妻、澤口、板橋夫妻

コース：日光湯元ビジターセンター前（開会行事）

光徳駐車場＝山王峠・登山口――山王帽子山――小太郎山――太郎山山頂

――小太郎山――山王帽子山――山王峠・登山口＝光徳駐車場（解散）

好天の奥日光湯元において、ビジターセンター前広場では開会式の前に、岳連の受付のわきで栃木県山の日協議会による携帯トイレの普及キャンペーンが行われました。協議会の会長を渡邊支部長が務めており、本支部会員と県担当者とともに配布と普及活動を行いました。携帯トイレは好評で、それを使う簡易テントや便座なども一緒に展示しました。

清掃登山の開会式では、主催者の栃木県山岳・スポーツクライミング連盟、糸川会長より、清掃登山が今回50回目を迎えるに当たり、清掃登山が始まった歴史的経過などを踏まえた挨拶があり、その後に共催団体として本支部、渡邊支部長より、この活動の重要性とともに継続の必要性についての挨拶がありました。

開会式後、本支部の参加者16名は光徳駐車場に移動して、そこから分乗し山王峠に向かいました。山王峠に車を停めて、そこで全員集合したところで、参加者確認と支部長挨拶がありました。

そして、9時前には16名による登山行動が開始され、峠脇の山王帽子山登山口より登山が開始しました。

山王帽子の最初からの九十九折りの急登で、一気に汗が噴き出るものの、一行全体にとってのんびりした良いペースでの登りで、気持ちのいい風を受けながら、1時間ほど登って10時前には全員無事に山王帽子山山頂に着きました。

休憩した後に、全員での集合写真を撮り、山王帽子までのコースを希望するメンバーと別れて、本隊はその先の太郎山を目指して、一旦山王帽子山を下りました。せっかく山王帽子山の山頂まで高度稼いだものを、もったいないと思いつつ下り、また帰りに登りになることに不安を募らせつつ最低コルまで下り、そこで休憩。その後に小太郎への急登にかかりました。小太郎までの登りはさらに急で、噴き出す汗を拭いながら、時折谷間から吹く風は暑さを和らげてくれ、風通しのよいところで休憩を取り身体を癒やしながら、12時過ぎたころ小太郎の山頂に達しました。

そこから、近くに見える太郎山山頂まで、見晴らしのいい稜線を進みます。剣が峰では、足場に気をつけながら、そして稜線上の高山植物を楽しみながら、12時35分ごろに太郎

山山頂に全員登頂しました。

山頂で短めの昼食休憩を取り、記念写真を撮り、景色を楽しみ、名残は尽きないものの13時には下山にかかりました。往路を戻ることになりますが、小太郎からの下りは急な下りでは、足下に気をつけながら下りました。山王帽子の帰りの登りは、思っていたほどではないものの、残り少ない体力を確実に奪われている気がしました。山王帽子山からの下りを、全員でのんびり下り、16時に無事に山王峠の登山口まで下山できました。

そこで、簡単に解散式を行い、それぞれ分乗して光徳に戻りました。

全国的に暑い日、奥日光も暑さを感じましたが、時折谷間から吹いてくる涼しい風や、日光の山々の景色、可愛い花を付けた高山植物に癒やされながら、無事に本年も日光清掃登山が無事に終わりました。

ゴミを拾うことも忘れず、十分な活動ができたそれぞれに充実した山行だと感じてもらえたものだと思います。

お陰様で7月19日～20日に予定している「親子登山教室」の下見もできました。

(担当委員 麦倉記)